

2020 年 7 月 20 日

本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2020 年 6 月分)

外貨建て投資信託は3か月連続で増加

- ブルームバーグのデータによると、6 月の売出債(個人投資家向けの外貨建て債券)総発行額は+127 億円、償還額は+1,023 億円となり、総発行額から償還額を差し引いた純発行額は▲896 億円と 11 か月連続で償還超となった(図表 1)。
- 売出債の 2020 年の純発行額(6 月までのデータを年率換算、以下同じ)は▲7,379 億円の償還超となった。通貨別に見ると、ブラジルレアル建てが▲1,078 億円の償還超となった。また、米ドル建てが▲1,013 億円の償還超となったほか、トルコリラ建て(▲948 億円)、オーストラリアドル建て(▲901 億円)、ロシアルーブル建て(▲678 億円)、なども償還超となった(図表 2)。
- 投資信託協会によると、外貨建て投資信託の純資産総額(為替評価調整後)は前月の 25 兆 9,220 億円から今月は 26 兆 7,978 億円に増加した。
- 25 通貨中 23 通貨で純資産総額の増加が見られた。通貨別では、米ドル建ては前月の 17 兆 9,196 億円から 18 兆 4,455 億円へと増加した。また、ユーロ建ても前月の 2 兆 3,128 億円から 2 兆 4,453 億円へ、オーストラリアドル建ても前月の 1 兆 5,561 億円から 1 兆 5,872 億円へ増加した。(図表 7)。
- 新興国通貨では、インドルピー建ては前月の 6,948 億円から 7,453 億円に増加した。また、ブラジルレアル建てが前月の 2,865 億円から 3,107 億円に増加した。そのほか、インドネシアルピア建ても前月の 811 億円から 875 億円へ、トルコリラ建ても前月の 714 億円から 749 億円に増加した(図 7、8)。
- 金融先物取引業協会の店頭外国為替証拠金取引および東京金融取引所の取引所為替証拠金取引のデータによると、6 月の個人投資家による為替証拠金取引ネット・ポジションは買い持ち高が前月の+2,137 億円から+1,300 億円へ縮小した(図表 9)。
- 通貨別では、米ドルの売り持ちは前月の▲1,271 億円から▲1,438 億円へ拡大した。また、英ポンドの買い持ちは前月の+2,874 億円から+2,690 億円へ縮小した。ユーロの売り持ちは前月の▲83 億円から▲229 億円へ拡大した。ニュージーランドドルの買い持ちも前月の+237 億円から+96 億円に縮小した。

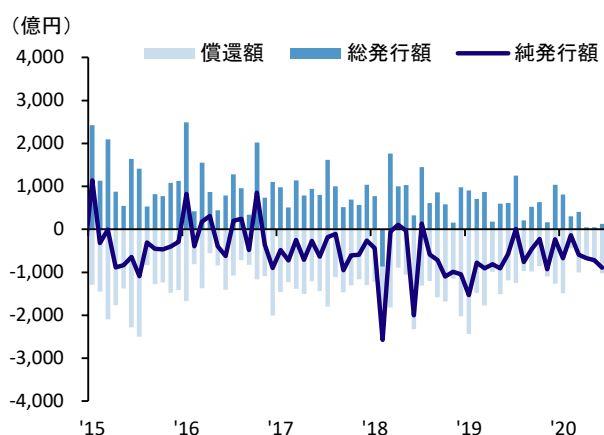
市場営業部
チーフマーケット・エコノミスト
唐鎌 大輔
03-3242-7065
daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

マーケット・エコノミスト
堀内 隆文
03-3242-7065
takafumi.horiuchi@mizuho-bk.co.jp

堀 堯大
03-3242-7065
takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp

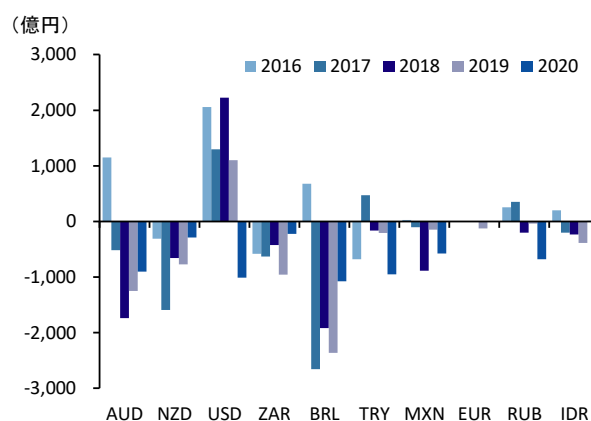
大島 由喜
03-3242-7065
yuki.ooshima@mizuho-bk.co.jp

図表 1: 売出債(外貨建て)の発行額・償還額



出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

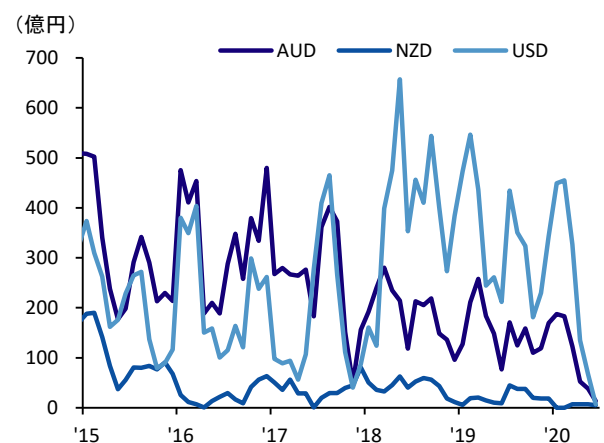
図表 2: 売出債の年間純発行額(通貨別)



注: 2019 年 10 月までのデータを年率換算。

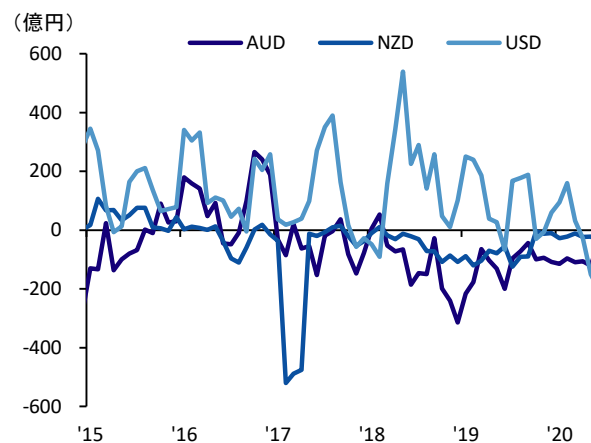
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 3: 売出債の総発行額(先進国、3 か月移動平均)



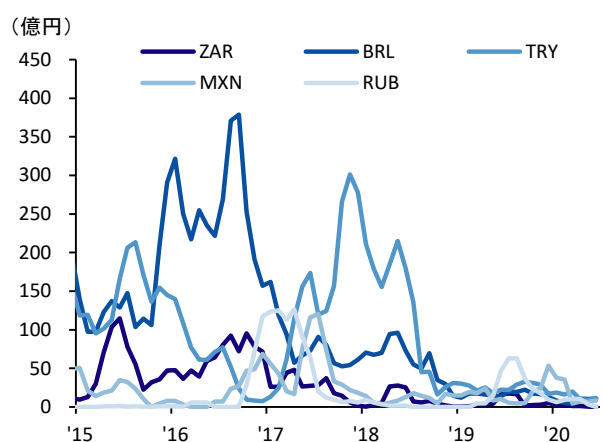
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

表 4: 売出債の純発行額(先進国、3 か月移動平均)



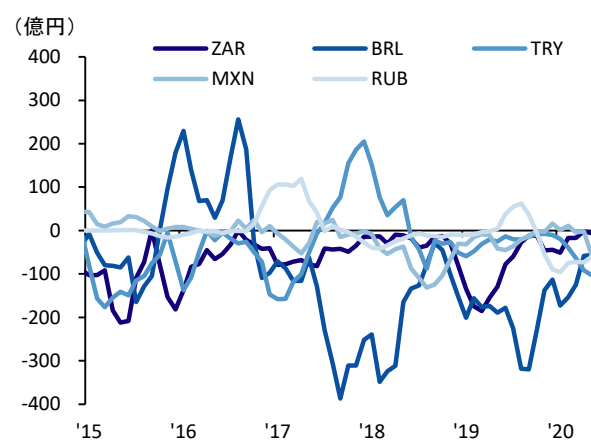
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 5: 売出債の総発行額(新興国、3 か月移動平均)



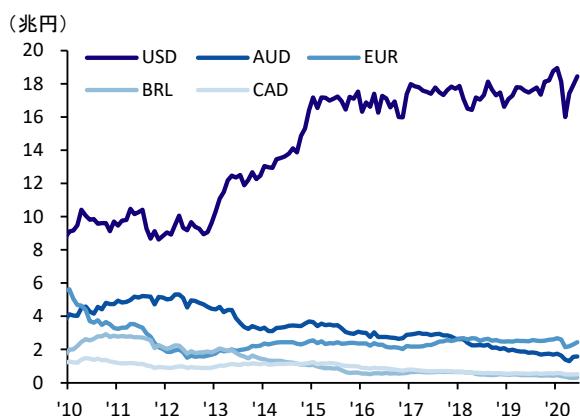
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 6: 売出債の純発行額(新興国、3 か月移動平均)



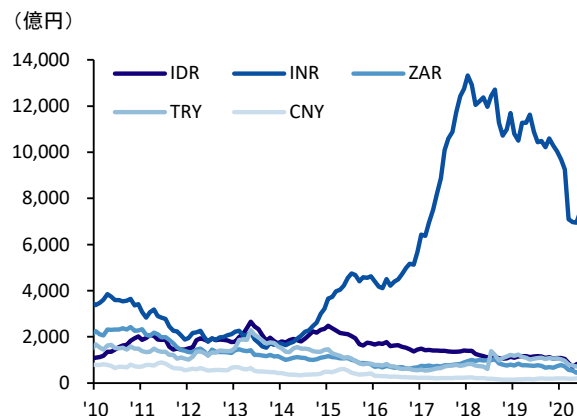
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 7: 投資信託の純資産残高(USD,AUD,EUR,BRL,CAD)



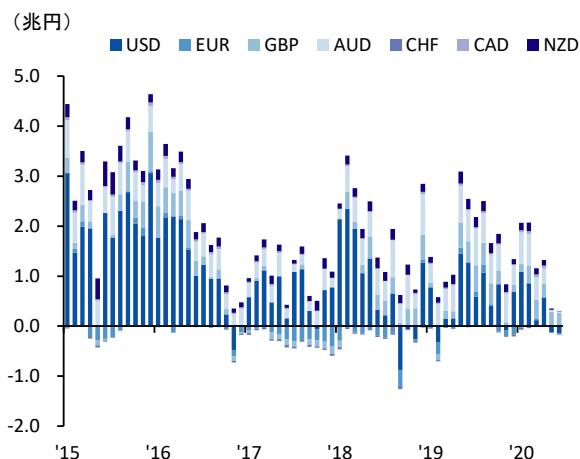
注: データは為替評価調整後。
出所: 投資信託協会、みずほ銀行

図表 8: 投資信託の純資産残高(IDR,INR,ZAR,TRY,CNY)



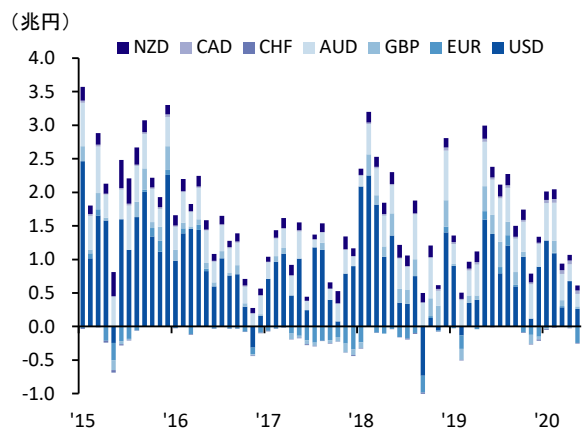
注: データは為替評価調整後。
出所: 投資信託協会、みずほ銀行

図表 9: 為替証拠金取引ポジション(FFAJ、TFX 合算)



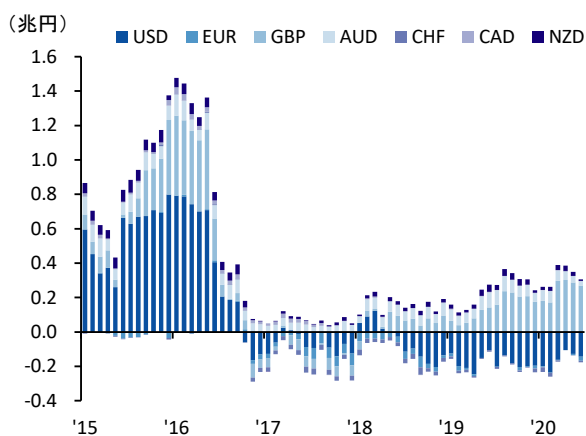
出所: 金融先物取引業協会、東京金融取引所、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 10: 店頭外為替証拠金取引ポジション(FFAJ)



出所: 金融先物取引業協会、みずほ銀行

図表 11: 取引所為替証拠金取引ポジション(TFX)



出所: 東京金融取引所、ブルームバーグ、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です
<http://www.mizuuhobank.co.jp/forex/econ.html> (Archives) http://www.mizuuhobank.co.jp/forex/econ_backnumber.html

発行年月日	過去6か月のタイトル
2020年7月20日	臨時EU首脳会議で透けて見えた「第三の亀裂」
2020年7月17日	週末版(ECB政策理事会を終えて～PEPPは使い切り、「2つの機能」に向けて～)
2020年7月16日	ユーロ相場の近況について～上昇の瀬戸際～
2020年7月15日	臨時EU首脳会議～交錯する「2人の議長」～
2020年7月14日	円相場の基礎的需給環境の現状と展望
2020年7月13日	ECBプレビュー～ラガルドインタビューは現状維持を示唆～
2020年7月10日	週末版
2020年7月9日	カレンシーボードに迫る脅威～米国の「諸刃の剣」～
2020年7月8日	増枠分の天井に近づいたECBの拡大資産購入プログラム(APP)
2020年7月7日	対外直接投資はこれからも増えるのか？
2020年7月3日	週末版(明らかに「物価差なき世界」～金利と共に失われる為替の変動要因～)
2020年7月2日	金価格が上がっている理由～リスクオフという方便～
2020年7月1日	円相場の需給環境～ストック円高、フロー円安～
2020年6月26日	週末版(IMF、GFSR改訂を受けて～「実力以上の株価」という必要悪～)
2020年6月25日	ユーロ相場はなぜ堅調なのか？
2020年6月23日	メルケル首相に託されたEU復興基金の先行き
2020年6月22日	ECB、「真のバズーカ」と「影の政策金利」
2020年6月19日	週末版
2020年6月18日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2020年5月分) 香港ドル相場の現状と展望～ベッグ崩壊の現実的な可能性は～ 二番底はメインシナリオの1つとして見るべきか
2020年6月17日	
2020年6月15日	29年連続「世界最大の対外純資産国」の読み解き方
2020年6月12日	週末版(EU首脳会議プレビュー～メルケル首相への花道論も～)
2020年6月11日	FOMCを終えて～当分失われそうなドル/円のボラティリティ～
2020年6月9日	米国はいずれ通貨政策に訴えかけるのか？～特権の行使～
2020年6月8日	金利上昇を容認したFRBと視野に入るYCC
2020年6月5日	週末版(ECB政策理事会を終えて～2022年末までバランスシート残高は高止まり～)
2020年6月4日	明らかにされたパンデミック緊急購入プログラムの全貌
2020年6月3日	米個人消費・所得、急変動に透けて見える日本化の胎動
2020年5月29日	週末版(ECB政策理事会プレビュー～PEPPに孕む隠蔽リスク～)
2020年5月27日	最近の元安・ドル高相場の読み方
2020年5月26日	IMF「国際金融安定報告」続報から読み取れるもの
2020年5月22日	週末版(EU復興基金設立の現状と展望～立ちはだかる「新ハンザ同盟」の壁～)
2020年5月20日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2020年4月分) コロナショックは反グローバルの「とどめ」なのか？
2020年5月19日	アフターコロナの世界で定着しそうな「皮肉な株高」
2020年5月15日	週末版(マイナス金利を正当化したECB論文～「次の一手」としての深掘りを予見させるものか？～)
2020年5月14日	不安を吐露したパウエル議長とマイナス金利の足音
2020年5月12日	独憲法裁判所の判断とECB買い入れ近況について
2020年5月8日	アフターコロナはインフレか？デフレか？
2020年5月7日	アフターコロナで注目したい世界の「日本化」兆候
2020年5月1日	週末版(ECB政策理事会を終えて～形骸化する政策金利と「次の一手」～)
2020年4月28日	日銀金融政策決定会合を受けて～同調圧力への対応～
2020年4月24日	週末版(原油急落に感じる株・為替市場との差異～原油に「ごまかし」は効かず～)
2020年4月22日	拡張財政と「ドルの信認」～目先の下落は濃厚か？～
2020年4月21日	資本逃避スピードはリーマンショックの倍に～IMF報告～ 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2020年3月分)
2020年4月17日	週末版(「The Great Lockdown」で最も傷が深いのは欧州か？～IMF世界経済見通し～)
2020年4月15日	ECBの「次の一手」はYCCも視野に～エ夫も必要～
2020年4月14日	「超リスクオフ」から「リスクオフ」へ～改めて米金利を意識へ～
2020年4月10日	週末版(明らかにになったECB資産購入の実情～このペースではあと半年が限度～)
2020年4月9日	英国のEU離脱はどこへ～移行期間は延長不可避の情勢～
2020年4月7日	「金利差なき世界」のあるべき視座～big picture～
2020年4月6日	「悲観の極み」の中で「光」をどう見出すべきか
2020年4月3日	週末版(「令和元年度 企業行動に関するアンケート調査」を受けて～かすかに暗雲漂う円相場～)
2020年4月2日	今でも「危機対応のフロントランナー」の日銀
2020年4月1日	過去最大のスタートダッシュを切ったECB
2020年3月30日	ドル高の裏にある新興国通貨安～半分はメキシコ由来～
2020年3月27日	週末版(EUが直面する「第三の危機」～債務、難民そして疫病へ～)
2020年3月26日	EUに楔を打ち込む中国～マスク外交と侮れず～
2020年3月25日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2020年2月分) リスクシナリオも繰り直し～日米金利差逆転というリスク～
2020年3月24日	「ドル化する世界」と新興国通貨の選別
2020年3月23日	「08年型のドル高」と円の「2大ステータス」
2020年3月19日	週末版(踏み込んだECB、パンデミック緊急資産購入プログラム～「抜かずの宝刀」も抜かれるのか？～)
2020年3月18日	FOMCレビュー～「不要不急で自滅」は予定通り？～
2020年3月17日	ECB政策理事会レビュー～胆力と失望の狭間～
2020年3月13日	週末版
2020年3月11日	ECB政策理事会プレビュー～実質的なデビュー戦～
2020年3月10日	日銀の「次の一手」を考える～GPIFとの共同戦線は？～
2020年3月9日	ドル安相場の当然の帰結～疫病は契機に過ぎず～
2020年3月6日	週末版
2020年3月5日	欧州難民危機再び？～「見えない脅威」と「見える脅威」～
2020年3月4日	不要不急の利下げで自滅したFRB
2020年3月3日	各国政府・中銀の政策協調姿勢を受けて
2020年3月2日	最強通貨に返り咲いた円～年初来変化率がプラスに～
2020年2月28日	週末版(メインシナリオに関するリスク点検～疫病リスク、米利下げ、円高～)
2020年2月27日	健在だった「安全資産としての円買い」と加速する悲観
2020年2月21日	週末版(忌避されるユーロ～通貨安政策として先鋭化するマイナス金利政策～)
2020年2月20日	円急落は「日本売り」の結果なのか？ 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2020年1月分)
2020年2月19日	危機モードが続く為替市場と無国籍通貨「金」の上昇
2020年2月18日	ユーロ圏経済の現状～中国とユーロ圏が風邪を引くと・・・～
2020年2月14日	週末版
2020年2月13日	それほど信頼できない「3月円高説」の実情
2020年2月12日	流動化し始めたドイツ政局～メルケル退陣まで1年半余り～
2020年2月10日	良好な雇用統計が浮き彫りにした市場の「甘え」
2020年2月7日	週末版(上がりにそうない原油価格～3つの理由と共にドル/円相場への含意を考える～)
2020年2月6日	改善が続く企業マインドをどう読むべきか
2020年2月4日	ポンド相場の現状と展望～遠すぎる物価「2%」～
2020年2月3日	ブレグジットQ&A～アイルランド問題から漁業権問題へ～